

注目 ニュース	#	日付	FA名	ニュースタイトル	ニュース概要	感染症種別	ニュース種別								関連リンク	
							FAの 戦略/方針	ワクチン開発 進捗	取組		資金提供			イベント		組織設立 ・再編
									当該FA	支援対象機	重点感染症	その他疾患	外部からFAへ			
	220	2023/10/2	WHO	WHO recommends R21/Matrix-M vaccine for malaria prevention in updated advice on immunization	WHOは小児のマラリア予防のために推奨する2番目の新規ワクチンとして、R21/Matrix-Mワクチンを推奨。WHO SAGEおよびマラリア政策諮問グループ（MPAG）からのアドバイスに従っており、9月25～29日に開催された定例会議後にWHO事務局長によって承認。WHOはまた、SAGEの助言に基づいて、デング熱と髄膜炎の新しいワクチンに関する推奨事項を発表し、併せて、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防接種スケジュールと製品の推奨事項も発表。アジュバントには、NovavaxのサポニンベースのアジュバントMatrix-Mが含ま	マラリア		●	●		●				リンク	
	221	2023/10/2	Karolinska Institutet	The Nobel Prize in Physiology or Medicine 2023	新型コロナウイルス感染症に対する効果的なmRNAワクチンの開発を可能にしたヌクレオシド塩基修飾に関する発見に対して、Katalin KarikóとDrew Weissmanに2023年のノーベル生理学・医学賞を授与。mRNA に含まれる塩基修飾で炎症反応が消失し、パラダイムの変化が治療としてmRNAを使用する上で重大な意味を持つという結果を2005年に発表。	（mRNA技術）		●		●	●				リンク	
★	222	2023/10/4	BARDA	Codagenix Announces BARDA Contract for Project NextGen Supporting Development of CoviLiv™ as an Intranasal COVID-19 Vaccine	BARDAとProject NextGenの一環として、COVID-19鼻腔内ワクチンCodagenixのPhase2b試験を支援する契約を発表。CoviLivはスタンバク質だけでなく、すべてのSARS-CoV-2タンバク質を発現する弱毒化生鼻腔内ワクチンであり、多数のウイルス抗原に対する広範な免疫の誘導を可能にし、変異株に対する防御効果を高める可能性があるとしている。	コロナウイルス感染症		●	●		●				リンク	
★	223	2023/10/10	BMGF	Gates Foundation to Accelerate mRNA Vaccine Innovation and Manufacturing in Africa and Globally	中所得国（low- and middle-income countries：LMIC）におけるmRNA研究とワクチン製造技術へのアクセスを促進するため、Quantoom Biosciencesの低コストのmRNA研究および製造プラットフォームの40Mドルの資金提供を発表。 パスツール・デ・ダカル研究所（IPD）とBiovacは、この技術を取得するためにそれぞれ5mドルを受け取り、それを現地で関連するワクチンの開発に使用できるようになる。またQuantoom Biosciences に20mドルを提供し、LMIC が次世代 mRNA 健康ツールの恩恵を受けられるようにする予定。さらにBMGFは、他のLMICワクチン製造業者にさらに1,000万米ドルを助成する予定。	（mRNA製造技術）			●		●				リンク	
★	224	2023/10/10	BARDA	Ocugen Mucosal Vaccine Candidate OCU500 Selected by NIH/NIAID Project NextGen for Inclusion in Clinical Trials	BARDAとProject NextGenの一環として、OcugenのCOVID-19ワクチン候補OCU500の粘膜経路、吸入による投与と比較する試験を実施すると発表。 OCU500 は、チンパンジーアデノウイルスベクター（ChAd）技術を用いた、粘膜経路型のウイルスベクターワクチンであり、以前の研究では筋肉内投与ワクチンと比較し、5分の1の用量で粘膜抗体、全身性抗体、および最長1年間持続する免疫反応が増加することを実証。	コロナウイルス感染症		●	●		●				リンク	
★	225	2023/10/10	UKRI	New projects to kickstart future vaccine development awarded £25m	UKRIの新たな投資として、ウイルスと免疫システムがさまざまな課題にどのように反応するかについての理解を構築するための総額25mポンドの3つのプロジェクトを発表。 ・G2P2 virology consortium:SARS-CoV-2変異株への対応：リーダー Imperial College London ・IMMPROVE:免疫記憶とワクチンからの保護のメカニズム解明：リーダー University of Oxford ・プロアクティブなワクチン学のための進化的にスマートなワクチン株の選択：リーダー University of Cambridge	コロナウイルス感染症		●	●		●				リンク	
	226	2023/10/10	CEPI	CEPI expands partnership with Wageningen Bioveterinary Research to advance clinical trials of Rift Valley fever vaccine in affected countries	CEPIは、Wageningen Bioveterinary Research（WBVR）とのパートナーシップを拡大し、複数施設でのPhase1/2a試験を通じてリフトバレー熱（RVF）に対するWBVRのワクチン候補を前進。CEPIから最大25.9 mドルの資金提供とEUのHorizon Europeプログラムの支援を受けて行われ、RVFが流行している国におけるWBVRのRVFワクチンの安全性と免疫原性を評価する初めての研究となる。	リフトバレー熱		●	●		●				リンク	
★	227	2023/10/11	CEPI	IQVIA and CEPI Collaborate to Strengthen Global Research Preparedness to Advance the 100 Days Mission	CEPIとIQVIAは、CEPIの100 Days Mission100を推進するための戦略的コラボレーションを発表。世界的な国および地域の協力者と協力して、ワクチンや新興感染症に対するその他の生物学的対策に関する臨床研究を迅速に実施することとしている。	－			●		●				リンク	
	228	2023/10/12	BARDA	Genevant Sciences LNP Technology Used in samRNA Covid-19 Vaccine Candidate Behind Gritstone bio's BARDA Award	Genevant Sciencesは、Project NextGenで支援されているGritstone bioのsamRNAワクチン候補におけるLNP技術が使用される予定であることを発表。	コロナウイルス感染症		●		●	●				リンク	
	229	2023/10/12	WHO	WHO announces €1.1bn collaboration to eradicate polio	欧州委員会、欧州投資銀行、BMGFは、ポリオ撲滅活動と低所得国での医療制度のアクセス向上のためWHOに1.1bユーロの融資協力を発表。この資金提携にはWHOとユニセフを含む世界ポリオ根絶イニシアチブ（Global Polio Eradication Initiative：GPEI）へ500mユーロ、保健システム強化のための投資と補助金500mユーロと80mユーロが含まれる予定。	ポリオ		●		●		●			リンク	
	230	2023/10/13	NIAID	Study reveals how young children's immune systems tame SARS-CoV-2	乳幼児を対象とした研究で、SARS-CoV-2に感染した乳幼児は、ウイルスに対して強力で持続的な抗体反応を示し、鼻には高レベルの炎症性タンバク質が認められたが、成人とは対照的に血中には含まれていないことを発表。この研究はNIH NIAIDの共同資金提供により支援。	コロナウイルス感染症		●		●	●				リンク	
★	231	2023/10/13	BARDA	Luminary Labs awarded BARDA contract to launch Project NextGen vaccine innovation prize competitions	BARDAとの提携を発表し、Project NextGenの目標を支援するために、2つのコンテストを企画、推進、運営することを発表。 ・規制当局の承認と商品化に向けた臨床エビデンスの収集：2024年に開始される予定で、賞金は最大50Mドルになる予定。 ・新型コロナウイルスやパンデミックインフルエンザに対する効果的な免疫反応を達成するための必要な投与回数の削減：2026年に開始される予定で、賞金は最大41Mドルになる予定。	コロナウイルス感染症 インフルエンザ				●	●		●		リンク	
★	232	2023/10/15	UKRI	Oxford to lead global collaboration to research and develop next-generation COVID-19 and flu vaccines	University of OxfordはUKRIからの8mポンドの資金援助を受けて、既存の新型コロナウイルス感染症ワクチンに対する理解を深め、インフルエンザや呼吸器合胞体ウイルス（RSV）を含むいくつかの呼吸器病原体に対する将来のワクチン開発を強化するための世界的な協力を促進することを発表。	将来のパンデミック		●		●	●	●			リンク	
	233	2023/10/16	GAVI	Action plan to drive equitable expansion of immunisation in Africa	アフリカ連合委員会(AUC)とGaviは、予防接種の支援、技術および学習支援の提供、保健システムの強化に向けて、アフリカ連合加盟国全体での救命ワクチンのアクセスを増やし、普及を加速するためのMoUに署名したことを発表。 予防接種に関するアディス宣言(Addis Declaration on Immunization：ADI)に準拠しており、予防接種プログラムへの政治的、財政的、技術的投資を増やすための10のコミットメントが含まれている。	－	●		●		●	●			リンク	

★	234	2023/10/13	BARDA	Project NextGen Selects Initial Vaccine Candidates and Awards Over \$500 Million to Advance Development of Vaccines and Therapeutics	Project NextGenにおける革新的な次世代ワクチンおよび治療プラットフォームの構築と、初期の次世代ワクチン候補の選定に向けた試験および技術に対する支援について、8月の1.4bドルの資金提供における500m強相当分の研究助成を発表。 ■次世代ワクチン候補のPhase2b評価に向けた検討 ・CastleVax 8.5mドル：ベクターベースの鼻腔内ワクチン候補の開発 ・Codagenix 10mドル：弱毒化生鼻腔内ワクチン候補の開発 ・Gritstone Bio 10mドル：自己増幅型mRNAワクチン候補の開発 ■コールドチェーンサンプル管理、ゲノム配列決定、およびサンプル検査のための中央検査室の能力増強への投資を含む240mを超える資金拠出 ・American Type Culture Collection(ATCC) 87mドル：コールドチェーンと検体のライフサイクル管理 ・BioInfoExperts 4mドル：COVID-19のゲノム配列決定 ・Meso Scale Diagnostics(MSD) 23,2mドル：マルチプレックスCOVID-19抗体検査キットの開発・製造 ・PPD 126.5mドル：Project NextGenワクチンの臨床試験中に採取されたサンプルからの免疫反応を分析する中央検査室の能力の提供 ■将来のCOVID-19の発生と患者のアクセスに対する国家の準備を改善する新技術を支援するための241mドルを超える資金拠出 ・Vir Biotechnology 40mドル：mRNA発現モノクローナル抗体の開発支援 ・Luminary Labs 100mドル ワクチン供給のためのパッチの開発を奨励し、効果的な免疫反応に必要なワクチンの投与回数を減らすことに焦点を当てた2つのコンテスト ・ModeX Therapeutics 59mドル：COVID-19の複数の部位に結合することができる曝露前予防のためのモノクローナル抗体開発 ・Charles Stark Draper Laboratory (Draper Labs) 10.5mドル：組織チッププラットフォーム技術の開発推進 ・Battelle 6mドル、英国健康安全保障庁 1万ドル：ヒトの肺と気道の組織チッププラットフォーム技術の進歩 ・Evidation 20mドル 呼吸器疾患の早期発見と家庭での検体サンプリング機能のための市販のウェアラブル端末の使用のテスト	不特定		●	●		●	●					リンク
	235	2023/10/18	CEPI	Australia’s Doherty Institute joins CEPI’s laboratory network	University of MelbourneとRoyal Melbourne Hospitalの合併会社であるPeter Doherty Instituteは、CEPIの集中検査ネットワークに参加したことを発表。	－			●		●	●					リンク
★	236	2023/10/18	BARDA	CastleVax Inc. Receives BARDA Project NextGen Award Valued at up to \$338 Million to Advance Intranasal NDV-based COVID-19 Booster Vaccine into Phase 2b Clinical Efficacy Testing	CastleVaxは、鼻腔内NDVベースの新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ブースターワクチンのPhase2b有効性試験の推進で、BARDA Project NextGenより最大338mドル相当の助成を受けることを発表。	コロナウイルス感染症		●		●	●						リンク
	237	2023/10/21	BMGF	NSFC, Gates Foundation to fund seven research proposals on vaccine regulation	中国国家自然科学基金会(NSFC)とBMGFは、ワクチン規制に関する7つの研究提案に資金を提供したことを発表した。「ワクチン規制の有効性を向上させるための政策と経路」「ワクチン規制制度の改革とプロセスの最適化」「ワクチンの有効性、安全性、製造品質を評価する新しいレギュラトリーサイエンスツールとアプローチ」「市販後のファーマコビジランスの積極的実施」をテーマとし、採択された各提案は、NSFCから最大750,000元(102,500ドル)、ゲイツ財団から最大125,000ドルの資金提供を受領した。	－			●		●	●				リンク	
	238	2023/10/24	CEPI	New CEPI call for proposals to transform response to future epidemic and pandemic viral threats	CEPIは、将来の疫病とパンデミックに備えるためのイノベーションを求める新たな提案募集を開始したことを発表。ヒトに感染して病気を引き起こす可能性のある現在未知のウイルス（Disease X）を含む、流行またはパンデミックの可能性のあるウイルス病原体に対するワクチンの研究開発と製造におけるイノベーションを加速することを目的とする提案を求めるとしている。	Disease X	●		●		●	●				リンク	
★	239	2023/10/24	BMGF	CanSinoBIO And Bill & Melinda Gates Foundation Sign Grant Agreement	CanSino BiologicsはVLPをベースにしたCS-2036ポリオワクチンの開発と臨床試験を支援するため、BMGFと助成契約を締結したと発表。現在、弱毒化経口ポリオワクチン（OPV）と不活化ポリオワクチン（IPV）の2つのタイプのワクチンに依存しているが、製造過程で生きたウイルスに依存しないVLPにより、OPVからの変異株への派生、生産施設で封じ込め失敗リスクの回避に貢献するとしている。	ポリオ		●		●	●					リンク	
	240	2023/10/24	NIH	UPR receives \$7.8M grant from NIH for Molecular Sciences and Research Center	NIHがUniversity of Puerto Rico (UPR)のMolecular Sciences and Research Center内にCenter for Incubation and Technology Transfer (UPRCITT)を設立するために7.8mドルを助成したことを発表。	－									●	リンク	
	241	2023/10/24	NIH	How SARS-CoV-2 contributes to heart attacks and strokes	New York University School of Medicineの研究チームは、SARS-CoV-2は冠動脈に感染し、アテローム性動脈硬化プラークの炎症を増加させる可能性があるとした論文を発表。この調査結果は、新型コロナウイルス感染症が心臓発作や脳卒中中のリスクをいかに増大させる可能性を示唆している。本研究は、NIHからの資金助成を受けて実施された。	コロナウイルス感染症				●						リンク	
	242	2023/10/24	NHS	Major study shows new insights into lasting impacts of Covid on UK population	Imperial College Healthcare NHS Trustの研究で、英国では数万人が新型コロナウイルス感染症の症状が感染後1年以上続いている可能性があることが、新たな分析で明らかになった。この研究結果は、REACT研究の一環として調査された英国の25万人以上のサンプルから得られたものであり、症状や新型コロナウイルス感染症が健康や生活の質に及ぼす影響を自己申告したものである。2020年から2022年の間に、59%が新型コロナウイルス検査で陽性反応を示したと報告した。当該研究はImperial College Londonの研究者らが主導し、National Institute for Health and Care Research (NIHR) Imperial Biomedical Research Centre (BRC) の支援を受けた。	コロナウイルス感染症				●						リンク	
★	243	2023/10/25	CEPI	CEPI to support circular RNA-based platform technology for vaccine development against emerging viral threats	CEPIは新たなウイルス感染症に対するワクチン開発のための、Emrvaxの環状RNAベースのプラットフォーム技術を支援することを発表。Emrvaxは、精製を改善する方法の開発、ポリマーナノ粒子を用いた環状RNAの製造のスケールアップ、安全で効果的で潜在的に熱安定性のある黄熱ワクチンの設計と開発を行っている。	不特定			●		●	●				リンク	

	244	2023/10/25	CEPI	Valneva Submits Chikungunya Vaccine Marketing Application to EMA and Announces CHMP Accelerated Assessment	Valnevaは、EMAに対し、同社の単回接種チクングニアワクチン候補VLA1553の承認申請を提出したことを発表。Valnevaはまた、EMA CHMPから、ワクチン候補の「公衆衛生と治療イノベーションに対する主要な関心」に基づいて、申請の迅速評価を認められたことを発表。 VLA1553は現在、規制当局の審査プロセスが進行中の世界で最初のチクングニアワクチン候補。承認されれば、最初の認可されたチクングニアワクチンとなる可能性がある。 VLA1553VLA1553は、110か国以上に広がっているチクングニアウイルスを標的とする弱毒生単回投与の治験ワクチン候補。VLA1553を低中所得国（LMIC）がより利用しやすくするために、Valnevaとブラジルの Instituto Butantanは2021年1月にVLA1553の開発、製造、販売に関する契約を締結した。この協力は、2019年7月にCEPIとValnevaの間で署名された協定の枠組み内にあり、Horizon 2020プログラムの支援を受けて最大24.6mドルの資金が提供されている。	チクングニアウイルス					●		●				リンク
	245	2023/10/25	BMGF	China's CanSino to Get USD2 Million From Gates Foundation for Polio Vaccine R&D	CanSino Biologicsは、組換えポリオワクチン候補CS-2036の研究開発のためにBMGFから2mドルの資金影響を受けることになったことを発表。CS-2036はVLPをベースにしたポリオワクチン候補であり、根絶後も含めて世界的なポリオ対策に大きく貢献すると期待されるとしている。	ポリオ					●		●				リンク
	246	2023/10/26	UKRI MRC	University of Oxford launches new trial to enhance flu and COVID-19 vaccines	インフルエンザワクチンとCOVID-19ワクチンの両方の設計を強化するための新しい試験LEGACY03試験を開始したことを発表。 アストラゼナカの研究から得られた最近の結果は、免疫不全患者に対する新型コロナウイルス感染症の重大かつ不均衡な負担が継続していることを浮き彫りにした。 University of Oxford主導でCentre for Clinical Vaccinology and Tropical Medicine at Churchill Hospitalを拠点とする新しいワクチン研究では、mRNA COVID-19追加免疫ワクチンと季節性インフルエンザの2つのワクチンを投与後、リンパ節の細胞反応を検査し、反応の変化を比較することとしている。当該研究はUKRI傘下のMRCから資金提供を受け実施している。	コロナウイルス感染症					●	●					リンク
★	247	2023/10/30	CEPI	CEPI and Moderna Harness mRNA Technology to Advance 100 Days Mission	CEPIとModernaは、CEPIの100 Days Mission100を推進するための戦略的パートナーシップを発表。Modernaの mRNA技術は、新規のワクチン候補を設計し、臨床試験とその後のスケールアップの準備を迅速に行うことができる迅速対応プラットフォームとしての柔軟性を有しており、戦略的パートナーシップを締結することにより、ウイルスに対するワクチン開発を加速するとしている。	不特定			●				●				リンク
	248	2023/10/31	NIH	Immune boost may protect against multiple hospital-acquired infections	University of Southern Californiaの研究者らは、免疫力の向上は複数の院内感染を防ぐ可能性があるとした研究成果を発表。自然免疫系を刺激するように設計された新しいタイプのワクチンは、マウスを広範囲の細菌や真菌から保護し、また、このアプローチが人々に効果的であれば、さまざまな治療耐性微生物によって引き起こされる院内感染による死亡を防ぐのに役立つ可能性があるとしている。 本研究は、NIHからの資金助成を受けて実施された。	不特定					●	●	●				リンク

注目ニュース星取ルール
感染症種別が重点感染症かつFAが投資しているワクチンの開発状況に関わるニュース
FAの戦略/方針の中でも特にワクチンや重点感染症に関連するニュース
その他 ワクチン開発関連においてAIの活用など新規技術の活用がされているニュース